



「願興寺庫裡」

亡くなられた小片勇氏には、庫裡改築委員会の委員長としてご尽力いただき、無事に完成へと導いて下さいました。

巻頭言

亡き人から問われている私たち

願興寺住職 高橋 深 恵

真宗大谷派

願興寺だより

第 80 号

2021年（令和3年）

4月1日発行

発行 者
願 興 寺

長岡市関原町1丁目1019

〒940-2035

TEL 0258-46-2316

FAX 0258-46-7499

去る二月二十四日、願興寺の前護持
 会会長を務められた小片勇氏がお亡く
 なりになりました。ご存知の通り、小
 片氏は庫裡改築委員会の委員長として、
 豊富な知識と経験を活かし、強いリー
 ダーシップでまとめ上げ、庫裡改築事
 業を完遂へと導いて下さいました。そ
 して私たち夫婦の仲人でもあり、事あ
 るごとに私たち家族のことを気にかっ
 けて下さいました。本当に願興寺にとっ
 ても、私たちにとっても返しきれぬほ
 どのご恩をいただいた方でした。

生前中、ご自身の病氣と向き合う中
 で、自分の葬儀について何度かお話を

相談を受けることができました。規模や会
 場、御布施の金額まで事細かく。坊守には
 大勢の方がお参りするから、日曜日に葬儀
 をしてくれとも言っていたそうです。

結局は、新型コロナウイルス感染予防の
 ため、親族中心の葬儀となりましたが、数
 えきれないほど多くの生花が上がりました。
 また奇しくも小片氏のご尽力された庫裡に
 て葬儀が勤められました。

一方で小片氏の葬儀を通じて、葬儀を勤
 める意義について改めて考えさせられまし
 た。コロナ禍で葬儀が簡略化されていく中
 で、何を大切にして、また何を外してはい
 けないのか。まるで「俺の葬式、頼むぞ」
 と言われた小片氏から問いかけられている
 ようでした。

亡くなられた方と語り合うことや、触れ
 合うことはできません。しかし何かしらの
 形で私たちはいつも亡き人たちから問われ
 ています。それは生前中の言葉や思い、亡
 き人の生き様などが「問い」となって私た
 ちの中に残るからです。

亡き人からの問いかけにどう応えていく
 のか。生きている私たちの大切な宿題では
 ないでしょうか。

新旧世話方会議 概要報告

この度は新型コロナウイルス感染症予防のため、会議の招集は行わず、予め、各地区の新旧の世話方さんに議案書をお送りし、書面での決議とさせて頂いていただきました。返信いただいた書面決議書では、反対はなく、全会一致で採決されました。

- ③アオサギ対策について
一昨年に引き続き、アオサギ対策のために墓地の樹木(杉)を伐採した。(6ページ参照)
- ④その他
・本堂床下シロアリ被害対策工事 (五月実施) *1
・鐘楼堂階段修復工事 (七月実施) *2

(一) 二〇二〇年事業報告

①年中行事について

昨年は新型コロナウイルスの影響で予定していた事業の中止や内容の変更を余儀なくされた。特にお斎(昼食)については全て持ち帰り用のお弁当に変更した。

②住職交代について

昨年の六月に住職交代、寺務の引き継ぎが行われた。しかし東本願寺での住職修習、任命式と九月に予定されていた住職襲職法要は新型コロナウイルスの影響で延期となった。

(二) 二〇二〇年決算報告

通常費の決算(4ページ参照)

では、行事などが中止、延期となったため、「教化・布教費」が減額となっている。また住職襲職法要の延期案内などのため、「通信費」が増額している。尚、予算の未執行分は「積立金」に回した。「営繕費」では本堂床下シロアリ被害修復工事と鐘楼堂の階段修復工事、本堂外縁改修費用の一部(今回で終了)などが含まれている。(下図参照)

墓地管理部の決算(6ページ参照)ではアオサギ対策のための樹木伐採費用が計上されている。

本堂外縁改修費用(5ヶ年計画)内訳

400,000円	2016年度営繕費より拠出
400,000円	2017年度営繕費より拠出
400,000円	2018年度営繕費より拠出
400,000円	2019年度営繕費より拠出
400,000円	2020年度営繕費より拠出*3
2,000,000円	庫裡改築委員会より拠出
3,500,000円	住職会計より拠出
7,500,000円	本堂外縁改修費総額

2020年度営繕費内訳

660,440円	シロアリ被害修復工事*1
362,780円	鐘楼堂階段修復工事*2
400,000円	本堂外縁改修費5年目*3
59,400円	その他
1,482,620円	2020年度営繕費総額

(三) 会計報告書の改訂

会計報告書について以前からいくつかの問題点があり、特に「護持会会計」と「法人会計」が入り組んだ形となっているため、それを是正すべく、会計報告書を改訂します。(5ページ参照)

(四) 二〇二二年事業計画

①住職修習・本山任命式

昨年、新型コロナウイルスの影響で延期されたため、今年の六月に再度上山予定。

②宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八百年慶讃懇志金のご依頼について

二〇二二三年に宗祖親鸞聖人御誕生八五〇年と立教開宗八百年の法要、事業のため、願興寺へ約九十万円の懇志金のご依頼がきております。このご依頼については護持会通常費の積立金と法人会計より支出して納める予定です。

③ホームページ制作について

今年からお寺のホームページ制作を本格的に進めてまいります。

④ 願興寺年中行事について
春季彼岸法要・帰敬式

三月二十日(土)

● お取越報恩講

五月二十六日(水)～二十七日(木)

● 願興寺お茶会

六月二十日(日)

● 盆参

七月二十七日(火)

八月一日(日)

八月七日(土)

● 孟蘭盆会

八月十三～十六日

● 秋季彼岸法要

九月十九日(日)

● 永代経法要

十一月十四日(日)

● 秋の旅(有縁講)

十一月二十七日(土)～二十八日(日)

● 除夜の鐘

十二月三十一日(金)

● 初めてのヨガ教室

月一回開催

● お経会

七月六日から隔週火曜日の予定
(全十回)

五二〇二一年予算

会計報告書が改訂されているが、概ね例年通り。(5、7ページ参照)

決議書での質問・意見

Q 「法人会計」とはどのようなものですか？

A 法人会計は「宗教法人願興寺」が管理する会計です。主な収入としては御布施や法要の志などがあり、支出としてはお参りや法要にかかる費用、境内の整備費用、住職の給料や本堂や庫裡の光熱費などがあります。法人代表である住職が責任をもち、基本的には非公開です。

Q 「護持会会計」と「法人会計」は、今後、どのように関わっていくのか？

A 護持会会計と法人会計は願興寺を護持、運営していくための両輪です。この度、会計の内容をしっかりと分けましたので、今後は互いの役割をより明確にし、適切に運用していきます。

Q 「管理費」や「役員費」など、各項目の内訳をもっと明確にして欲しい。

A 護持会会計については役員会等で協議しながら出来る限り内訳などを公開するよう努めてまいります。

二〇二一年度

願興寺世話方

- | | |
|--------------|---------------|
| 丸山一弘 (大積田代町) | 藤塚 彰 (関原町三) |
| 相沢一雄 (大積千本町) | 小玉祐一 (高頭町) |
| 丸山貞子 (大積千本町) | 池津庄悟 (高寺町) |
| 丸山正俊 (大積高鳥町) | 相田一郎 (雲出町) |
| 丸山正寿 (大積町三) | 小片莊平 (上除町) |
| 高野精一 (大積町一) | 小片 修 (上除町) |
| 太田芳男 (大積町一) | 太刀川久訓 (上除町) |
| 原 幸一 (宮本東方) | 大川靖彦 (七日町) |
| 布川静夫 (宮本町三) | 渡辺一郎 (堺町) |
| 丸山将孝 (刈羽村油田) | 長谷川 裕 (堺町) |
| 佐藤忠男 (関原町一) | 田村隆夫 (才津西町) |
| 荒木俊哉 (関原町一) | 田村公男 (深沢町) |
| 小山安栄 (関原町一) | 高野幸栄智 (三ツ郷屋町) |
| 小山キヨノ (関原町一) | 山本汜夫 (緑町) |
| 荒木 勇 (関原町一) | 丸山利博 (大山) |
| 小山 博 (関原町一) | 佐藤 稔 (大島本町) |
| 片桐直利 (関原町南) | 高野一昭 (大島新町) |
| 成田 実 (関原町南) | 暁 輝雄 (大島新町) |
| 佐藤健一 (関原町南) | 高野孝也 (雁島町) |
| 小山育子 (関原町一) | 長東栄善 (沢下條) |
| 佐藤弘嗣 (関原町一) | 関谷繁行 (来迎寺) |
| 荒木 久 (関原町一) | 丸山 聡 (来迎寺) |
| 原 隆 (関原町二) | 高野広夫 (越路中沢) |
| 吉田ノブ子 (関原町二) | 関谷敏夫 (岩田) |
| 高木智明 (五反田) | 長谷川孝雄 (西山町別山) |

2020年度 願興寺通常費決算書

(2020年1月1日～2020年12月31日)

歳入の部

(単位は円)

項 目	2020年予算	2020年決算	増 減	摘 要
繰 越 金	218,084	218,084	0	
ご 依 頼 金 収 入	6,930,000	6,930,000	0	495戸×14,000円
雑 収 入	40,000	48,228	8,228	預金利子、配当金
住 職 抛 出 金	1,700,000	1,700,000	0	
年 間 法 要 志	750,000	750,000	0	お取越、盆参等の志
信 徒 通 信 費 補 助	45,000	45,000	0	墓地管理部会計より拠出
合 計	9,683,084	9,691,312	8,228	

歳出の部

項 目	2020年予算	2020年決算	増 減	摘 要
教 団 費				
本山・宗派費	1,950,000	1,884,390	- 65,610	
教 区 費	350,000	369,780	19,780	
小 計	2,300,000	2,254,170	- 45,830	
役員・世話方費				
世話方会議	150,000	140,466	- 9,534	年1回
役員会議	250,000	304,794	54,794	年4回
役員手当	300,000	320,000	20,000	
慶弔交際費	80,000	0	- 80,000	
小 計	780,000	765,260	- 14,740	
教化広報費				
教化・布教費	900,000	619,534	- 280,466	盆参等 *彼岸法要は休止。
広 報 費	600,000	553,460	- 46,540	願興寺だより、カレンダー等
小 計	1,500,000	1,172,994	- 327,006	
営繕管理費				
営 繕 費	1,400,000	1,482,620	82,620	本堂外縁(5年目)、本堂床下シロアリ工事等
管 理 費	1,300,000	1,085,691	- 214,309	冬囲い 境内整備、セコム、ダスキン他
小 計	2,700,000	2,568,311	- 131,689	
税 費				
固 定 資 産 税	260,000	301,200	41,200	
小 計	260,000	301,200	41,200	
通 信 事 務 費				
通 信 費	270,000	355,957	85,957	郵送費 法要延期案内等
事 務 費	350,000	306,212	- 43,788	コピー、事務用品
小 計	620,000	662,169	42,169	
保 険 費				
火 災 保 険	370,000	363,710	- 6,290	本山共済、JA共済など 3億5000万円
小 計	370,000	363,710	- 6,290	
積 立 金	100,000	1,500,000	1,400,000	事業、整備等の積立 5年目(※1)
住 職 襲 職 法 要 費	1,000,000	0	- 1,000,000	延期
予 備 費	53,084	0	- 53,084	
小 計	1,153,084	1,500,000	346,916	
合 計	9,683,084	9,587,814	- 95,270	

2020年度総収入 9,691,312

2020年度総支出 9,587,814

次年度繰越金 103,498

◎会計監査 上記の通り相違ないことを認めます。

実施日 2021年2月7日 監査委員 丸山健吾◎

小山安栄◎

(5)

2021年度 願興寺通常費予算書

(2021年1月1日～2021年12月31日)

歳入の部

(単位は円)

項 目	2020年決算	2021年予算	増 減	摘 要
繰 越 金	218,084	103,498	- 114,586	
ご 依 頼 金 収 入	6,930,000	6,930,000	0	495戸×14,000円
雑 収 入	48,228	45,000	- 3,228	預金利子、配当金
住 職 抛 出 金	1,700,000	0	- 1,700,000	→廃止
年 間 法 要 志	750,000	0	- 750,000	→廃止
信徒通信費補助	45,000	45,000	0	墓地管理部会計より拋出
合 計	9,691,312	7,123,498	- 2,567,814	

歳出の部

項 目	2020年決算	2021年予算	増 減	摘 要
教 団 費				
本山・宗派費	1,884,390	1,900,000	15,610	
教 区 費	369,780	370,000	220	
小 計	2,254,170	2,270,000	15,830	
役員・世話方費				
世話方会議	140,466	150,000	9,534	
役員会議	304,794	250,000	- 54,794	
役員手当	320,000	320,000	0	
慶弔交際費	0	60,000	60,000	
小 計	765,260	780,000	14,740	
教化広報費				
教化・布教費	619,534	0	- 619,534	→法人会計へ移管
広 報 費	553,460	600,000	46,540	「教化広報費」に改名
小 計	1,172,994	600,000	- 572,994	
営繕管理費				
営 繕 費	1,482,620	0	- 1,482,620	→法人会計へ移管
管 理 費	1,085,691	1,000,000	- 85,691	「営繕管理費」に改名
小 計	2,568,311	1,000,000	- 1,568,311	
税 費				
固 定 資 産 税	301,200	300,000	- 1,200	
小 計	301,200	300,000	- 1,200	
通信事務費				
通 信 費	355,957	450,000	94,043	法要案内、出欠ハガキ代等
事 務 費	306,212	320,000	13,788	コピー、事務用品
小 計	662,169	770,000	107,831	
保 険 費				
火 災 保 険	363,710	370,000	6,290	本山共済、JA共済など 3億5000万円
小 計	363,710	370,000	6,290	
積 立 金	1,500,000	1,000,000	- 500,000	事業、整備等の積立 6年目
予 備 費	0	33,498	33,498	
小 計	1,500,000	1,033,498	- 466,502	
合 計	9,587,814	7,123,498	- 2,464,316	

2020年度 願興寺墓地管理部決算書

(2020年1月1日～2020年12月31日)

歳入の部

(単位は円)

項目	2020年予算	2020年決算	増減	摘要
繰越金	12,224	12,224	0	
ご依頼金(門徒)	864,000	864,000	0	432戸×2,000円
ご依頼金(信徒)	249,000	249,000	0	83戸×3,000円
雑収入	110,000	278,000	168,000	預金利息、業者協力金(広川仏壇、トーア仏壇)
合計	1,235,224	1,403,224	168,000	

歳出の部

項目	2020年予算	2020年決算	増減	摘要
人件費	450,000	404,009	- 45,991	掃除お礼、シルバー人材センター
運営費	300,000	221,586	- 78,414	除草剤、清掃用具、広告費等
法要費	200,000	0	- 200,000	住職襲職奉告法要延期
信徒通信費補助	45,000	45,000	0	通常費へ拠出
墓地樹木伐採費	0	339,800	339,800	アオサギ対策のために樹木を伐採(※3)
予備費	40,224	0	- 40,224	
積立金	200,000	350,000	150,000	管理・整備等の積立(※2)
合計	1,235,224	1,360,395	125,171	

2020年度総収入 1,403,224
2020年度総支出 1,360,395

◎会計監査 上記の通り相違ないことを認めます。

実施日 2021年2月7日 監査委員 丸山健吾◎

次年度繰越金 42,829

小山安栄◎

2020年度積立金

① 護持会通常費 積立 (※1)

(単位は円)

項目	金額	摘要
前年度積立金総額	1,002,995	2016年～2019年までの積立、預金利子
2020年 積立金	1,500,000	
合計	2,502,995	2020年度積立金総額

② 墓地管理部 積立 (※2)

項目	金額	摘要
前年度積立金総額	4,152,827	2019年までの積立、預金利子
2020年 積立金	350,000	
墓地樹木伐採補助	- 1,000,000	(※4)
合計	3,502,827	2020年度積立金総額

アオサギ対策墓地樹木伐採(公民館側) 会計報告

2020年8月実施 伐採業者:(有)関谷材木店

(単位は円)

項目	金額	摘要
墓地管理部 会計より	339,800	2020年度墓地管理部会計より(※3)
墓地管理部 積立より	1,000,000	(※4)
合計	1,339,800	アオサギ対策伐採費用総額

2021年度 願興寺墓地管理部予算書

(2021年1月1日～2021年12月31日)

歳入の部

(単位は円)

項目	2020年決算	2021年予算	増減	摘要
繰越金	12,224	42,829	30,605	
ご依頼金(門徒)	864,000	864,000	0	432戸×2,000円
ご依頼金(信徒)	249,000	249,000	0	83戸×3,000円
雑収入	278,000	110,000	- 168,000	預金利息、業者協力金
合計	1,403,224	1,265,829	- 137,395	

歳出の部

項目	2020年決算	2021年予算	増減	摘要
人件費	404,009	450,000	45,991	掃除お礼、シルバー人材センター
運営費	221,586	300,000	78,414	除草剤、清掃用具、広告費等
法要費	0	200,000	200,000	永代供養墓合同法要(秋季彼岸)
信徒通信費補助	45,000	45,000	0	通常費へ拠出
墓地樹木伐採費	339,800	0	- 339,800	
予備費	0	70,829	70,829	
積立金	350,000	200,000	- 150,000	管理・整備等の積立
合計	1,360,395	1,265,829	- 94,566	

今年度の御門徒ご依頼金は下記の通りです。
よろしく願い申し上げます。

護持会費(年間) 14,000円 + 墓地管理費(年間) 2,000円 = 合計 16,000円

●世話方扱い(各地区の世話人が集金の上、納入)

通常費	墓地管理費	合計	納入日
6,000		6,000	前期 4月26日
8,000	*2,000	10,000	後期 8月13日

●個人扱い(郵便振替またはお寺で納入)

通常費	墓地管理費	合計	納入日
6,000		6,000	前期 5月26日
8,000	*2,000	10,000	後期 8月13日

●信徒(郵便振替またはお寺で納入)

通常費	墓地管理費	合計	納入日
	*3,000	3,000	8月13日

*願興寺に墓地をお持ちの方のみです。

春季彼岸法要・帰敬式

二〇二二年三月二十日 ㊦

三月二十日に恒例の春季彼岸法要・帰敬式が行われました。昨年は新型コロナウイルスの影響でお休みさせていただきましたが、今年は感染予防対策を整えての開催となりました。「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉のごとく、とても温かい気候となりました。約五十名もの参詣がありました。

彼岸法要の読経の後、休憩をはさみ、帰敬式が行われ、今回は男女合わせて四名の方が受式されました。

今年には住職交代をして初めての帰敬式でもあったため、新任職によりおかそりがあてられました。



おかみそりの後、受式者一人一人に法名が渡され、受式者を代表して、藤塚栄司さんが誓いの辞を述べられました。最後は記念撮影を行い、帰敬式を終えました。

法話では住職より「法名をいただくという事は、二つの名前をもつということ。それは生活(俗名)の中で仏教の教え(法名)を通して自分を見つめ直していくきっかけをいただくこと」だと話されました。



2021年 帰敬式受式者



◆ 大川公一様(七日町)
法名 釋公徳

◆ 藤塚栄司様(関原町三)
法名 釋栄顕

◆ 藤塚チヨ様(関原町三)
法名 釋尼千光

◆ 高野スミエ様(雁島)
法名 釋尼香温

以上四名

この度、帰敬式を受けられた四名の方々に對しまして、改めてお祝い申し上げます。

お取越報恩講のご案内

二〇二二年五月二十六日(水)・二十七日(木)

お取越報恩講は、親鸞聖人のご命日を縁として勤められる、私たち真宗門徒にとって、とても大切な法要です。

尚、例年であれば、旬の山菜などを使ったお齋をご用意しておりましたが、今回は新型コロナウイルス感染症予防のため、お齋のご用意はできません。その代わり持ち帰り用のお弁当を準備いたします。

このような時節柄ではありますが、穏やかな気候の中、お参り頂きますようご案内いたします。



お取越の法要は近隣のお寺さん方が集まって勤められます。多人数で勤められる厳かで迫力のある法要は必見です。

日程

五月二十六日(水) 二十七日(木)

午前九時 受付

十時 法話

講師 井上正師
(柏崎受徳寺住職)

十一時 法要

十二時 終了

*ご都合のつく日にお参り下さい。



願興寺

お茶会

の御案内

恒例の願興寺お茶会が今年も下記の日程で開催されます。新緑が青々と茂る中、心地よい日差しを浴びながら穏やかな時間をお過ごしいただける場です。昨年は新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれましたが、皆様のお陰をもつて無事に開催できました。日常の喧騒を忘れさせてくれる離れ座敷にて、新緑の庭を眺めながら、美味しいお菓子とお抹茶をお楽しみ下さい。皆様のお越しをお待ちしております。



日時

六月二十日(日)

九時四十分より受付

*受付順に一席目からのご案内となります

参加費

五〇〇円

*当日受付時にお支払い下さい。

申込み

六月十五日までに

お寺までお電話にてお申込み下さい。



尚、どなた様でもご参加いただけるように座り席の他にも椅子席をご用意しております。正座の出来ない方や小さなお子様連れの方でもご安心下さい。

*新型コロナウイルスの感染防止のため、日程を変更させていただきます。



法話「一ナー」

『仏説無量寿経』

について ⑳

《原文》

仏、阿難に告げたまわく、「無量寿仏の威神光明、最尊第一にして、諸仏の光明及ぶこと能わざるところなり。あるいは仏の光の百仏世界を照らすあり。あるいは千仏世界なり。要を取りてこれと言わば、すなわち東方恒沙の仏刹を照らす。南西北方・四維・上下も、またまたかくのごとし。あるいは仏の光の七尺を照らすあり。あるいは一由旬・二・三・四・五由旬を照らす。かくのごとく転た倍して、乃至、一仏刹土を照らす。このゆえに無量寿仏を、無量光仏・無辺光仏・無碍光仏・無对光仏・焰王光仏・清浄光仏・歡喜光仏・智慧光仏・不断光仏・難思光仏・無称光仏・超日月光仏と号す

《現代語訳》

「お釈迦様は阿難にお告げになった。「無量寿仏のおごそかな光明は、最も尊く、他の諸仏の光明がとても及ぶところではない。無量寿仏の光は、百の仏の世界を照らすことがある。あるいは千の仏の世界を照らすこともある。要するに、東方のガンジス河の砂の数ほどの仏の国を照らすのだ。南方、西方、北方もその間の四隅も、上方も下方も、みな同じように照らすのだ。あるいは、無量寿頌仏の光が七尺を照らすこともある。あるいは一由旬、二由旬・三由旬・四由旬・五由旬を照らす。そしてこのように次々に倍して、やがて一仏の国土を照らすのだ。このゆえに無量寿仏を、無量光仏・無辺光仏・無碍光仏・無对光仏・焰王光仏・清浄光仏・歡喜光仏・智慧光仏・不断光仏・難思光仏・無称光仏・超日月光仏などとお呼びするのである」と。」

「無量寿仏の威神光明」

「阿弥陀仏は光輝いておられる仏さまだと」、お釈迦様が阿難に対して阿弥陀仏の事を説明していると、無量寿仏の威神とは力にあふれているという意味です。無量寿仏の嚴

かな光明。光明とは智慧のはたらきを意味します。お経には光がたくさん出てまいりますが、光は闇を破るものです。闇とは私たちの無知を譬えているのですが、仏教ではこれを「無明」と言います。私たちがものの道理をわかっていないということ。ところが無明というのは深刻でありまして、そのわかっていないこと、それ自体がわかっていない。自分が愚かであることがわからないほど、愚かなんですよ。自分は何かわかっているような気になっている。ところが実際は何もわかっていない。その無明の闇を破るのが智慧なのです。ですからお経の中では智慧が問題になるのですが、その時必ず、智慧を光に譬えて表現されます。

光というのは不思議なものでして、光そのものをみることはできません。光が何か

たった時や照らされた時に初めて光があるということがわかるわけです。私たちの心の闇も同様で光に照らし出されて初めて、闇であったことに気付くわけですね。

「恒沙」

恒河沙とも言いますが、恒河とはガンジス河のことです。沙は砂、つまりガンジス河にある砂のことを意味しています。これは数の単位を表して、途方もなく数が多いことを言っています。東の方にガンジス河の砂の数ほどの仏の世界があるというのです。そのような広大な世界を阿弥陀仏の光は照らしているのだと。そしてそれは南、西、北の国も全く同様であると。

「四維・上下」

維というのは隅っこですから、東と北、東と南、西と北、西と南の間。この四つに東西南北と上・下が加わり、十方。

十方とはすべての方向、つまり空間をすべて網羅しているということなのです。

「このゆえに無量寿仏を」

この後に十二の仏さまの名前が出てきます。これは阿彌陀仏の別の呼び方であり、全部、光がついており、「十二光陀仏の智慧を譬えております。

- ① 無量光仏
分量では量ることのできない光（智慧）のはたらき
- ② 無辺光仏
無辺とはほとりがないこと。ここまでと限ることができない光（智慧）
- ③ 無碍光仏
碍とはさへぎるという意味。つまりさへぎることができない光（智慧）
- ④ 無対光仏
対とは比較という意味。くらべることができない光、それほど勝れた光（智慧）
- ⑤ 焰王光仏
焰は煩惱を焼き尽くす炎を譬えている。そのような力をもった炎が放っている光（智慧）

⑥ 清浄光仏

清浄とは汚れがない、清らかな光（智慧）

⑦ 歡喜光仏

歡喜とは喜びということ。人々に喜びを与えてくれる光（智慧）

⑧ 智慧光仏

無明の闇を破る光（智慧）

⑨ 不断光仏

とぎれることなく、輝き続ける光（智慧）

⑩ 難思光仏

思慮することができない。私たちの知識や常識を超えて勝れた光（智慧）

⑪ 無称光仏

称とは説明すること。私たちの言葉ではとても表現できないようなすぐれたはたらきをもった光（智慧）

⑫ 超日月光仏

太陽や月の光を超えた光（智慧） 太陽にしても月にしても照らさない時があるわけです。ところが阿彌陀仏の光はそれを超えたものだから輝かない時が全然ない。そのため超日月光という言い方をしているのです。

以上が十二光、十二の智慧と言われるものです。

古田和弘師 講述

『仏説無量寿経』より抜粋

仏事二回メモ

— 仏事での基本的な作法について —

時節柄、葬儀、法事などの仏事に参列する機会も減り、その際の作法も忘れてしまいがちです。また今更聞きづらいという事もあるでしょう。そのため、今回は焼香などの基本的な作法について説明いたします。

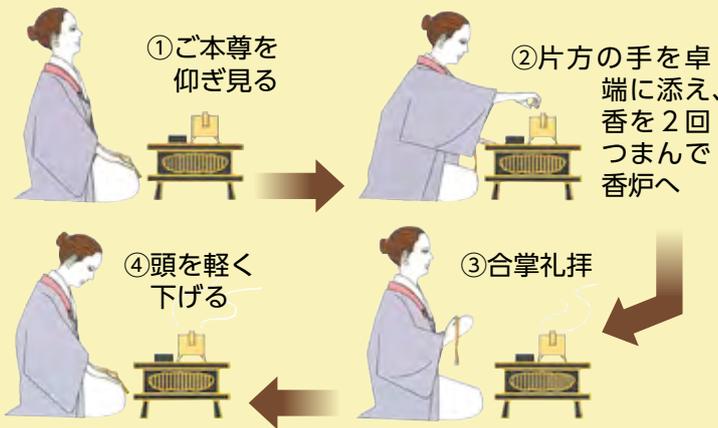
◆合掌の作法について

お参りする時は静かに手を合わせます。両手は指先を合わせて、まっすぐ伸ばし、肩や腕の力を抜いて両手はみぞおちあたりに置きます。合掌の際は頭は下げず、頭を下げるのは合掌を解いてからです。尚、念珠の持ち方は左の通りです。



◆焼香の作法について

焼香の作法は宗派によって若干異なります。真宗大谷派（お東）の作法は左の通りで、二回、香を入れるのが作法です。また香をおしいただく必要はありません。立つて焼香する際も同様の作法で行います。



永代経志のご芳名

二〇一九年一月～二〇二〇年十二月

永代経懇志金を拝領いたしました。篤く御礼申し上げます。
お寺の布教活動、本堂の仏具などに使わせていただきます。

- 布川 博様 (東 栄)
- 田村信夫様 (越路中沢)
- 荒木ヨウ様 (関原一)
- 清水豊子様 (川 崎)
- 脇川広輝様 (上 除)
- 丸山茂樹様 (大積千本)
- 長谷川吉和様 (西 山)
- 山田洋成様 (希望が丘)
- 長谷川富一様 (堺 町)
- 長谷川弘二様 (堺 町)
- 丸山博彦様 (大積千本)
- 佐藤英幸様 (関原一)
- 長谷川信夫様 (堺 町)
- 太田伸之様 (関原二)
- 太田伸之様 (関原二)
- 渡辺光夫様 (下河根川)
- 暁 英和様 (緑 町)
- 関谷康弘様 (岩 田)

お経会のご案内

お経会は、復習から始まりゆつくり丁寧に進めています。午後七時三十分からですので、お仕事帰りや夕飯後の空いた時間に練習してみませんか？また休憩時間のお茶飲みで楽しいひとときも過ごすことができ一石二鳥です。皆様のご参加をぜひお待ちしております。

第十七期お経会予定

- 第一回 七月六日(火)
- 第二回 七月二十日(火)
- 第三回 八月十日(火)
- 第四回 八月二十四日(火)
- 第五回 九月七日(火)
- 第六回 九月二十一日(火)
- 第七回 十月五日(火)
- 第八回 十月十九日(火)
- 第九回 十一月二日(火)
- 第十回 十一月十六日(火)
- 隔週火曜(全十回予定)
- 午後七時三十分～九時
- 事前申し込み不要

編集後記

亡くなられた小片前会長の事を思い出すと涙が止まりません。若い頃から本当にお世話になり、このお寺に関わるご縁を頂いた大切な方でした。

私がお寺の生活に馴染めず悩んでいた時も「今があなたの踏ん張りどころ」と言って励ましてくださった事を思い出します。きっと私だけでなく多くの人達から慕われて、その人達に笑顔と元気を与えてくださった人生だったのではないかと思います。

私自身、心の整理がつくまでには少し時間がかかりそうです。かと言って、いつまでも立ち止まっているわけにはいきません。これからは私自身が小片前会長のよう周囲の人達に少しでも元気を与えられるようになっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

編集委員 高橋智美

